

2015年度(平成27年度)「自ら考え学ぶ授業づくり」アクションプラン

〈学校用〉

校番(30)番 福山市立新市中央中学校

1 授業の現状

- ・チャイム席も守れ、落ち着いた雰囲気です。
- ・学びたいという意欲が少なく、受け身の授業となっている。
- ・説明の時間が長く、生徒が考える時間が短い授業である。

転換

2 めざす授業の姿

- ・生徒に課題意識を持たせ、振り返りのできる授業
- ・知識を教えるだけでなく、なぜと考える授業
- ・教師の話す時間の少ない授業

3 めざす授業に向けた取組の具体

4月からの取組	8月末の状況	9月からの取組	12月末の状況	1月からの取組	2月末の状況
① 目標を明示して授業を行い、それに沿った振り返りをさせる。 ② 思考力・表現力の育成を目指した授業を進め、定期試験で出題する。 ③ 授業規律の徹底を目指す。 ④ 校内、校区内での研修を進める。	① 目標の意識 84% 振り返り 94% ② 思考力 73%、 表現力 70% ③ チャイム席 97% 学習道具の準備 88% きれいな教室 81% ④ 校内で2回実施 校区内の小中学校で講師を招聘して合同研修を実施	① 課題意識が持てるような目標設定にする。 ② 授業の最初にその時間の流れを示して、授業を進める。 ③ 生徒が考えることが必要な発問を工夫する。 ④ 計画的な授業となるように、授業記録簿には次週の予定を記入する。	① 90% ② 67% ③ 81% ④ 71%	① 授業の最初にその時間の流れを示して、授業を進める。(継続) ② 計画的な授業となるように、授業記録簿には次週の予定を記入する。(継続) ③ ねらいからまとめへと授業の流れがわかるような板書をする。 ④ 生徒への肯定的評価を増やす。 ⑤ 自分の考えを伝えあうような活動を仕組む。	① 90% ② 90% ③ 71% ④ 86% ⑤ 71%

4 取組の結果

数値は2015年(H27年)調査等の状況

全国学力・学習状況調査(%)

	A問題	B問題
国語	74.3(-2.2)	64.1(-2.9)
数学	57.6(-7.0)	35.4(-7.3)
理科	44.5(-7.7)	

()は県平均との差

「基礎・基本」定着状況調査(%)

	タイプ I	タイプ II
国語	77.4(1.7)	54.1(-10.7)
数学	68.5(-5.7)	41.4(-15.7)
理科	49.9(-1.1)	44.8(-4.3)
英語	62.1(-8.1)	53.9(-6.7)

体力・運動能力調査 (網掛は県平均以上: 県平均は、11月公表予定)

男子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	蹴越100m	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	女子	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	蹴越100m	50m走	立ち幅とび	ボール投げ
1年	21.1	24.7	33.7	53.0	434.8	8.2	181.0	15.9	1年	20.5	20.5	40.8	49.3	345.4	9.2	164.4	12.3
2年	27.9	28.6	41.3	56.8	388.1	7.7	201.3	17.2	2年	22.8	23.9	47.8	46.6	311.0	9.2	169.0	12.8
3年	32.2	29.4	42.1	56.8	366.9	7.7	202.6	21.4	3年	24.4	23.5	51.7	46.5	314.0	9.1	171.5	14.0

* 空欄には、20m シャトルランか持久走のいずれかを記入

「基礎・基本」定着状況調査 (生徒質問紙調査)(%)

内容	国語		数学		理科		英語	
	よく	やや	よく	やや	よく	やや	よく	やや
授業が分かる	19.7	52.0	39.5	39.5	32.9	49.3	17.1	33.6
学校が楽しい	80.9							